

清泉女子大学大学院地球市民学専攻創設10周年記念シンポジウム
(2015年11月7日)

中国人の対日観の近年の変遷

～中国人の見た日本と中日関係～

一世論調査データから

中国社会科学院日本研究所

王 偉

中国人の対日観の近年の変遷 ~中国人の見た日本と中日関係~ 一世論調査データから

- 一、使用データについて
- 二、中国人は日本をどう見ているか
- 三、中国人は中日関係をどう考えているか
- 四、中国人の対日観の最近の変化
- 五、まとめ

一、使用データについて

(一) 中国社会科学院日本研究所による調査（2002－2011年）

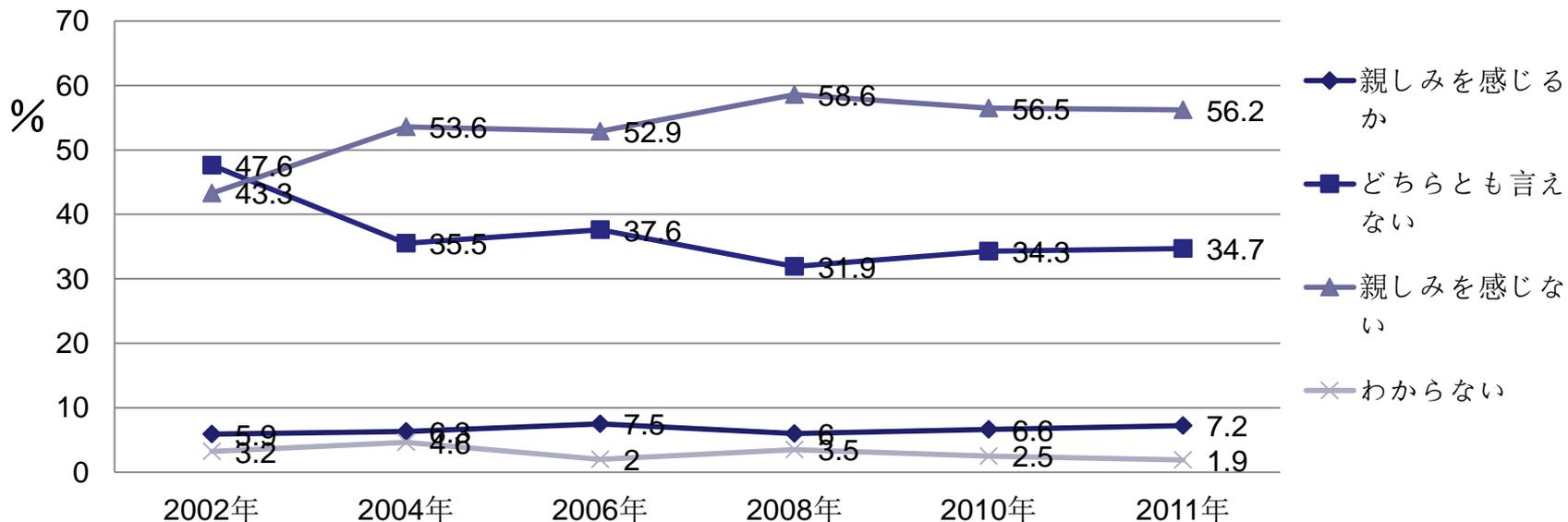
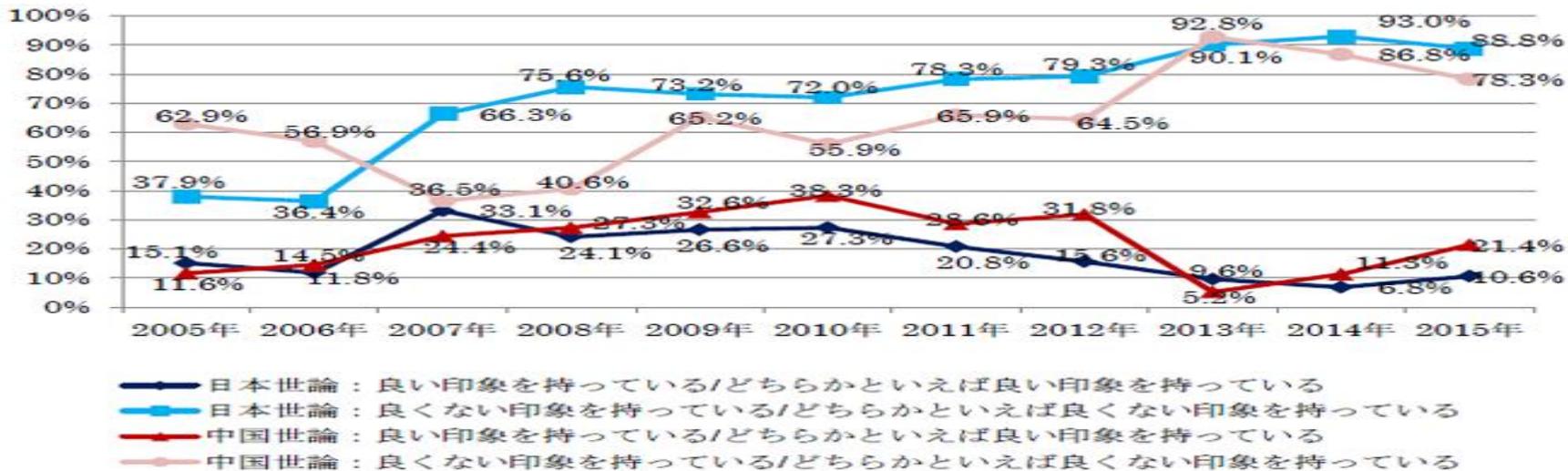
- ・ 調査項目：日本・中日関係に関する世論意識
- ・ ほぼ2年に1回、計6回実施。日本・中日関係に関する中国民衆の意識を調査し、把握する。
- ・ 対象地域：1－4回は15以上の省・市、第5～6回は8の直轄市や省政府所在地に限定。 対象者：1－4回は都市部・農村部を含み、第5～6回は都市部に限定。
- ・ 対象者人数：2800～4000人

(二) 日中共同世論調査（2005－2015年）

- ・ 日本の民間団体、言論NPOと中国の英字新聞チャイナ・デイリー（2015年は中国国際出版集団）が、2005年から毎年、日中両国で行われる。
- ・ 対象者：日本側は全国から1000人、中国側は、主要5都市で1500人余り。
- ・ 中国社会科学院日本研究所は2012年よりチャイナ・デイリーに協力。2013～2014年度の中国側調査結果報告書を執筆。

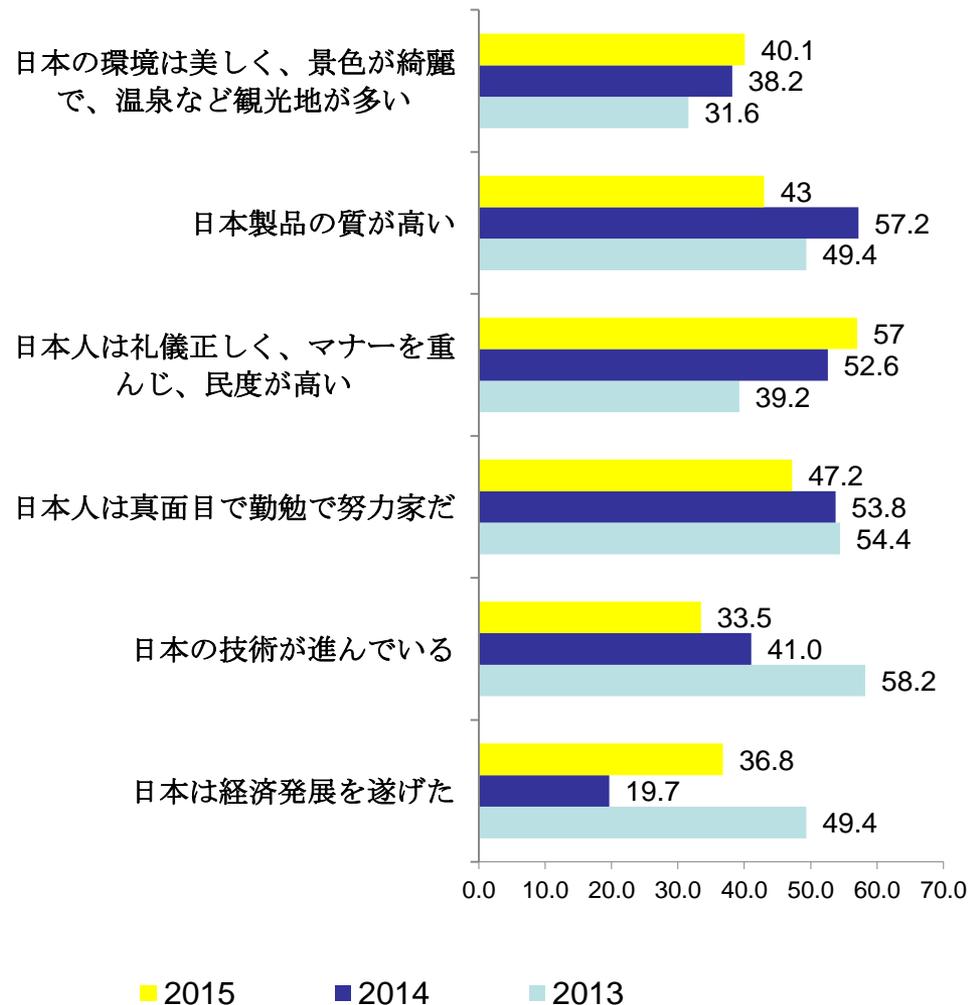
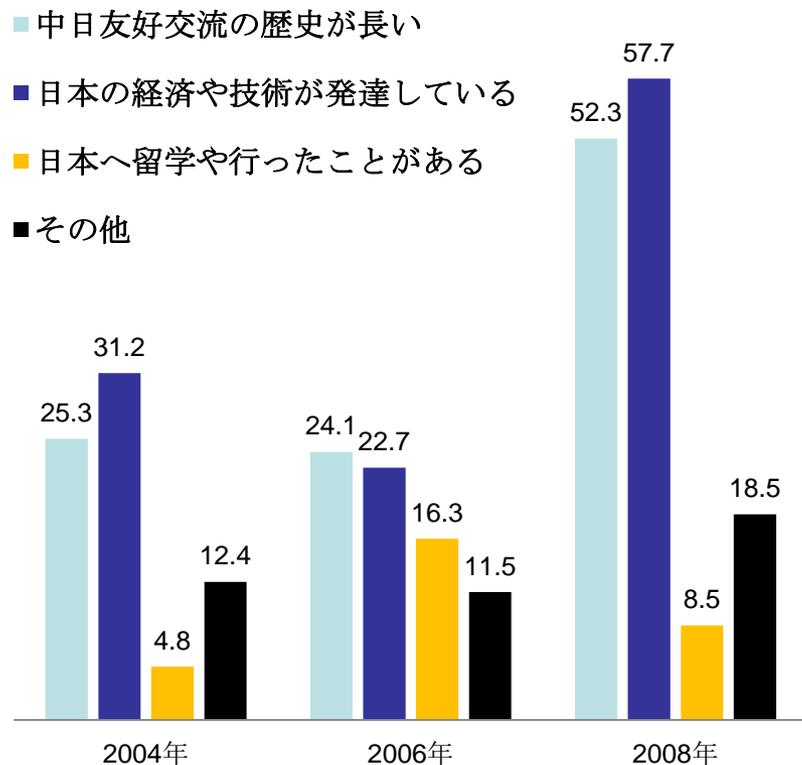
二、中国人は日本をどう見ているのか

1、中国人は日本に親しみを感じるか(どのような印象を持っているか)

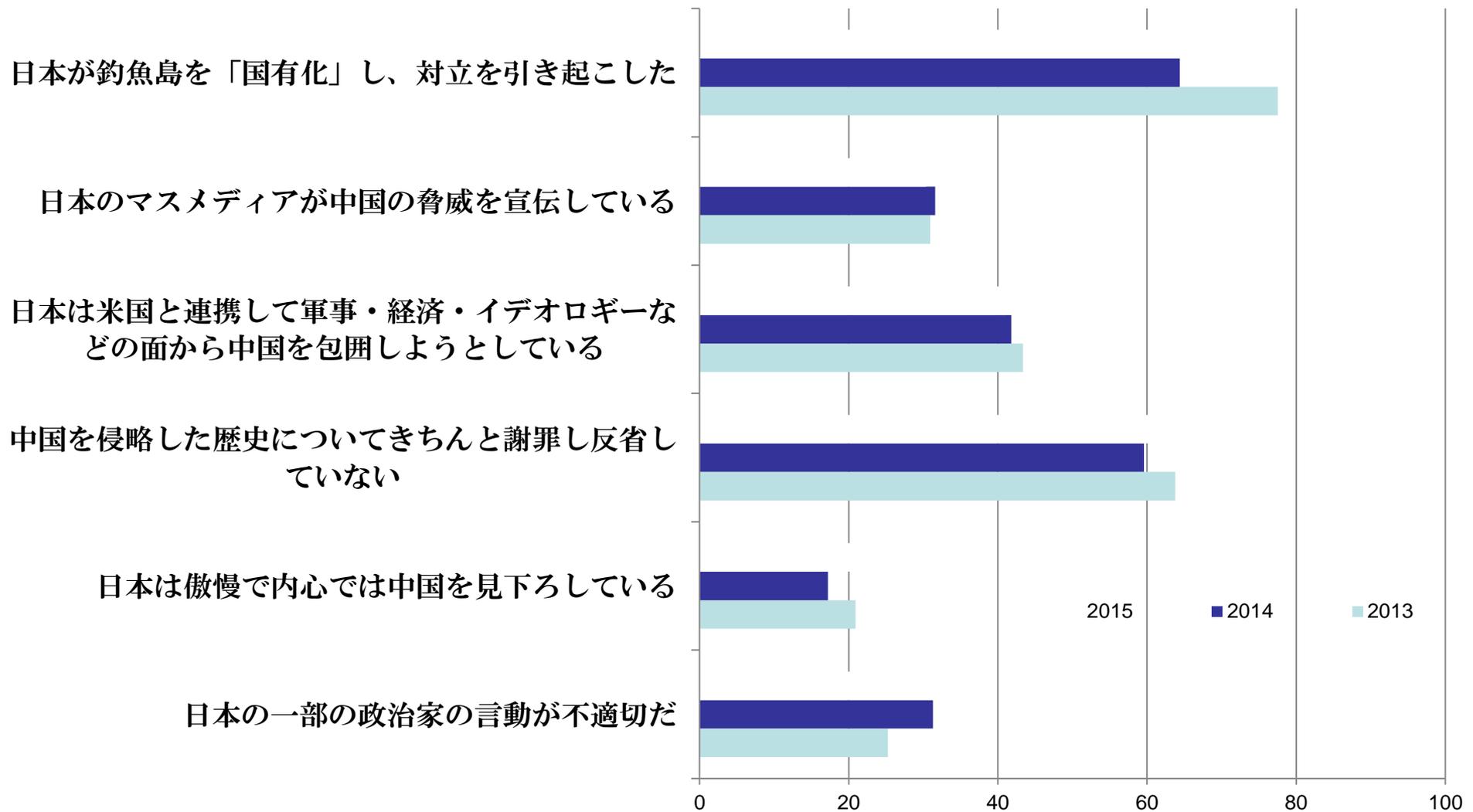


2、親しみを感じる理由（良い印象を持っている理由）

[表の中の数字の単位はいずれも%。以後のスライドの表も同様]



3、親しみを感じない理由(良くない印象を持つ理由)



4、中国人の日本イメージ

日本研究所による世論調査	2002年	2004年	2006年	2008年	2010年	2011年
一位	中国を侵略した旧日本軍	桜	桜	中国を侵略した旧日本軍	中国を侵略した旧日本軍	中国を侵略した旧日本軍
	53.5	50.3	53.4	67	89.6	87.6
二位	桜	中国を侵略した旧日本軍	中国を侵略した旧日本軍	桜	桜	桜
	49.6	40.3	44.5	63.4	87.5	86.7
三位	富士山	富士山	富士山	富士山	富士山	富士山
	46.6	40.1	42.7	53.8	87	86

(1) 日本といえば何を思い浮かべるか(上位3位)

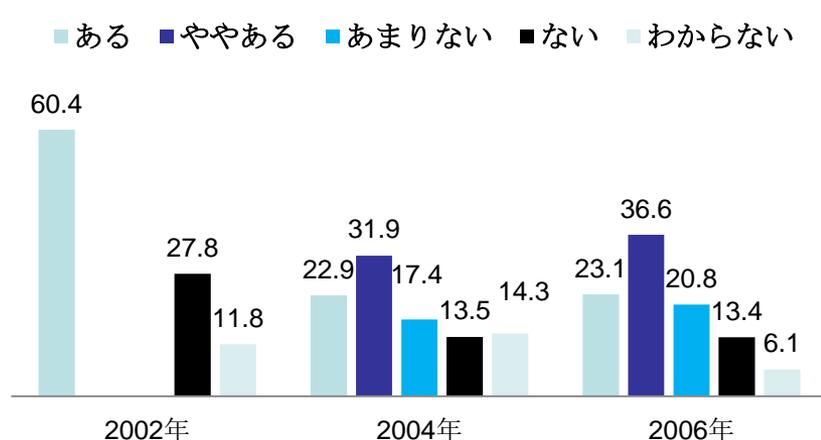
- ここ10年あまり、中国人の対日イメージは多重である。
- 歴史認識問題は一貫して重要位置を占める。
- 2012年9月の日本の釣魚島「国有化」以来、領土問題が顕在化する。

日中共同世論調査	2012年	2013年	2014年	2015年
一位	電気製品	釣魚島	釣魚島	釣魚島
	51.3	57.5	46.6	50.6
二位	桜	南京大虐殺	南京大虐殺	南京大虐殺
	42	50.3	35.5	47.9
三位	南京大虐殺	電気製品	電気製品	桜
	40.3	37.1	33.6	35

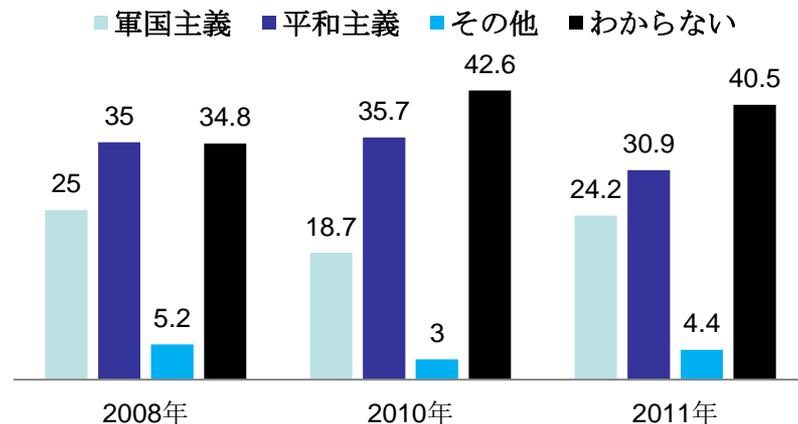
4、中国人の日本イメージ

(2) 日本はどのような道へ進むのか

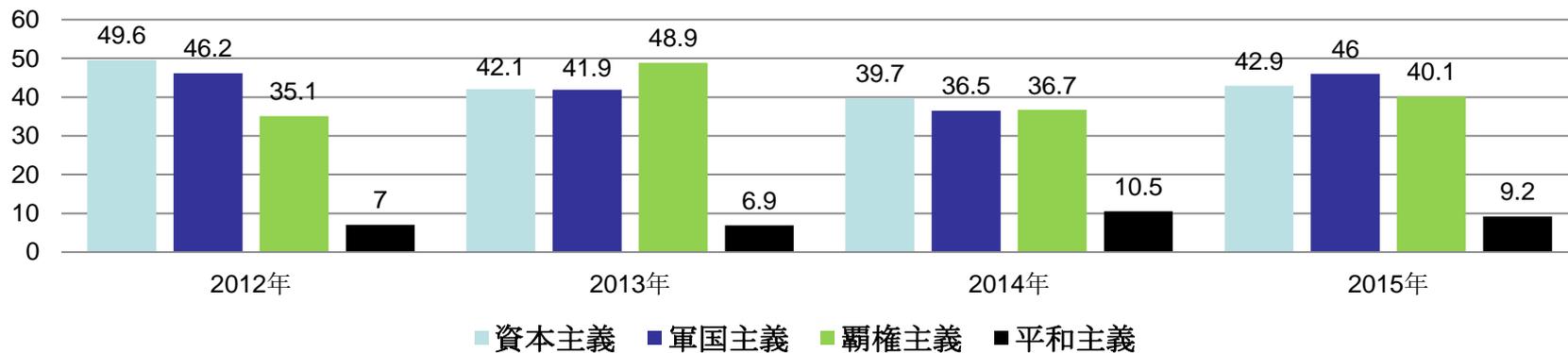
日本が軍国主義の道を進む懸念があるか（日本研究所調査）



日本がどのような道へ進むと思うか（日本研究所調査）



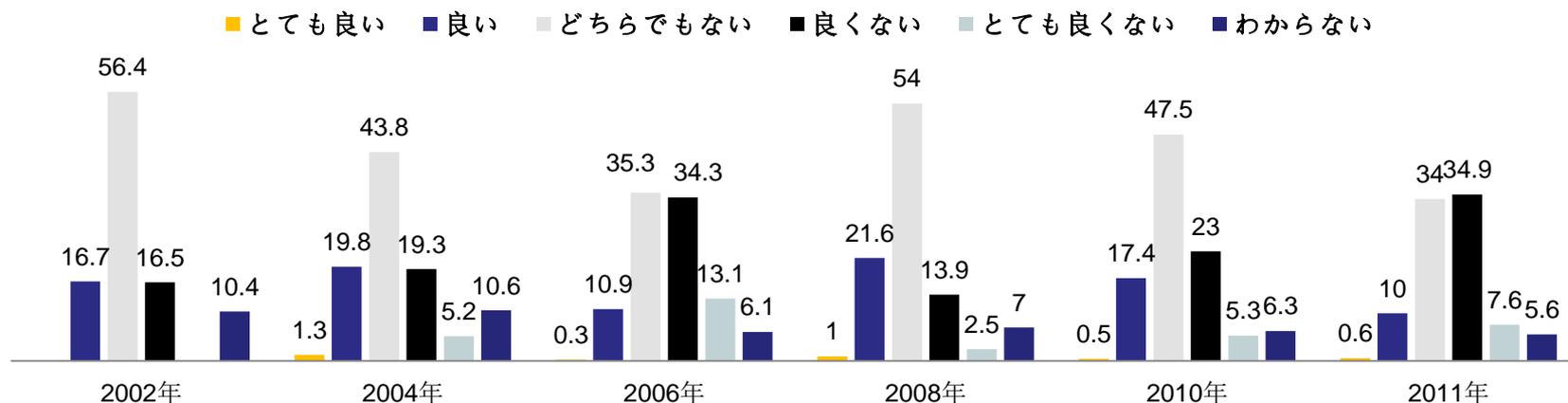
日本はどのような国か（日中共同世論調査）



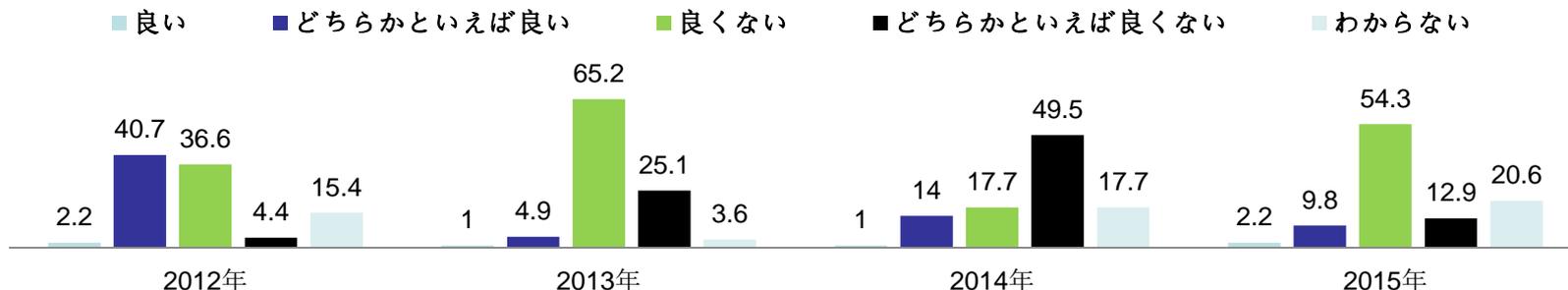
三、中日関係をどう考えているか

1、中日関係の現状をどのように評価しているか

現在の中日関係をどう思うか
(日本研究所調査)



現在の中日関係をどう思う
(日中共同世論調査)

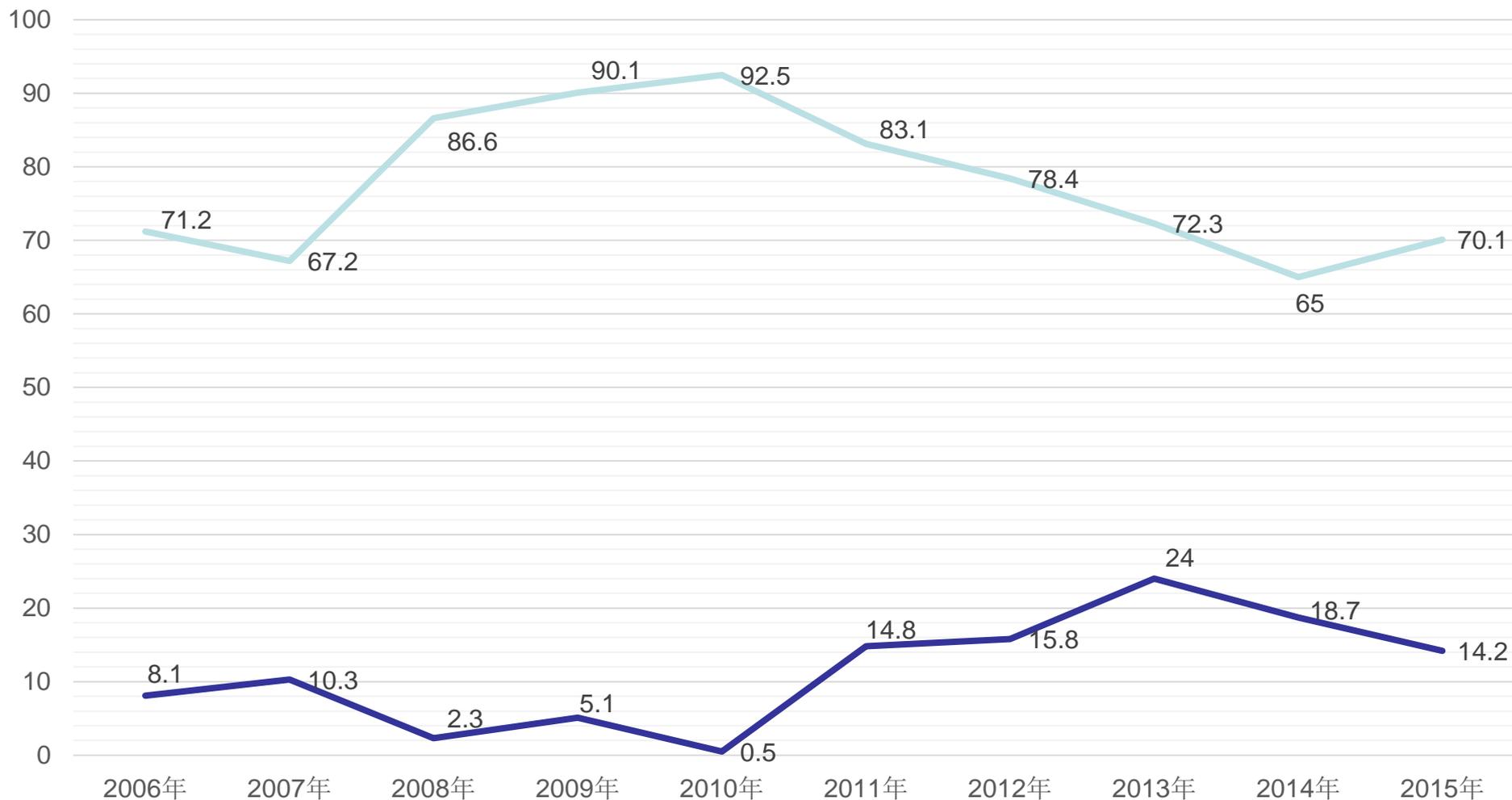


2、中日関係は重要か

中日関係は重要か否か

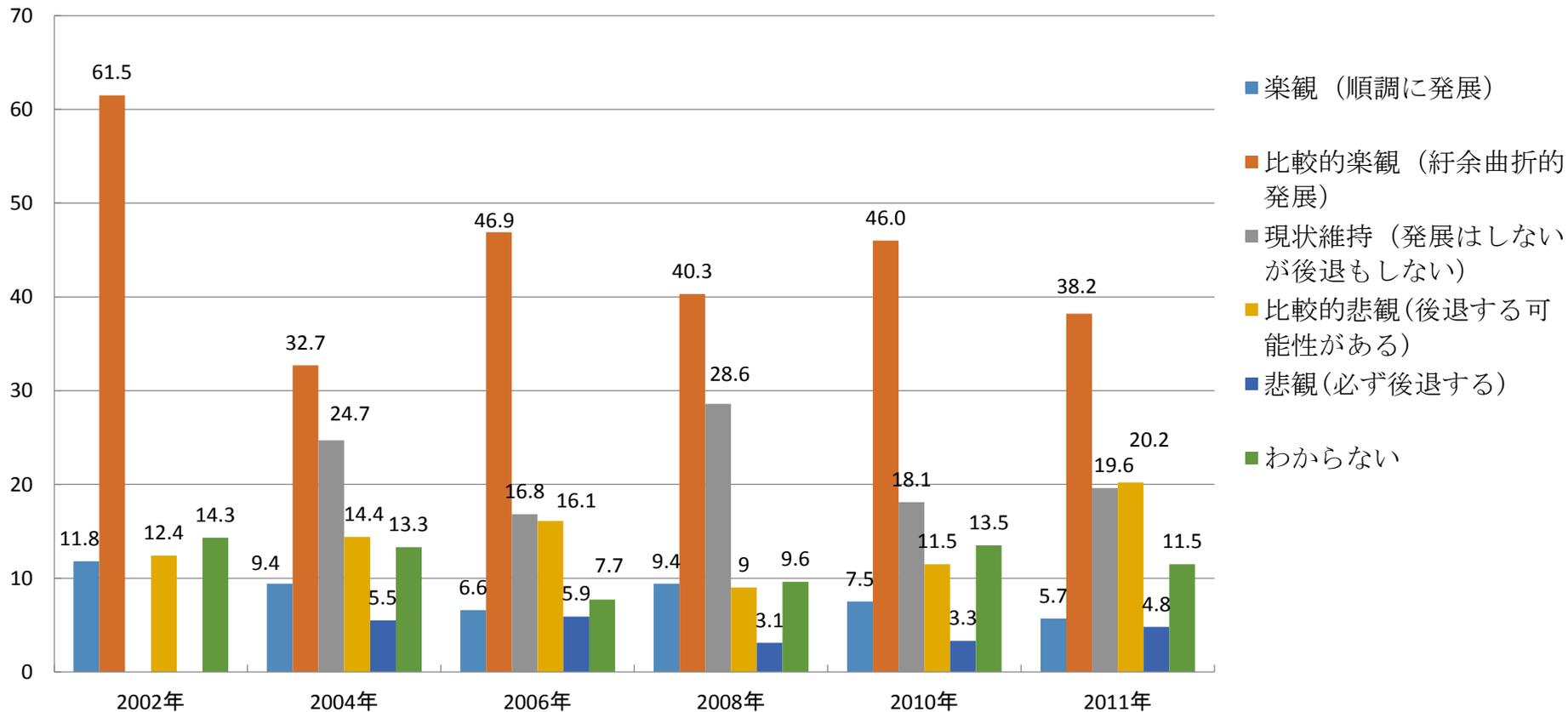
(日中共同世論調査)

— 重要+どちらかといえば重要 — 重要ではない+どちらかといえば重要ではない



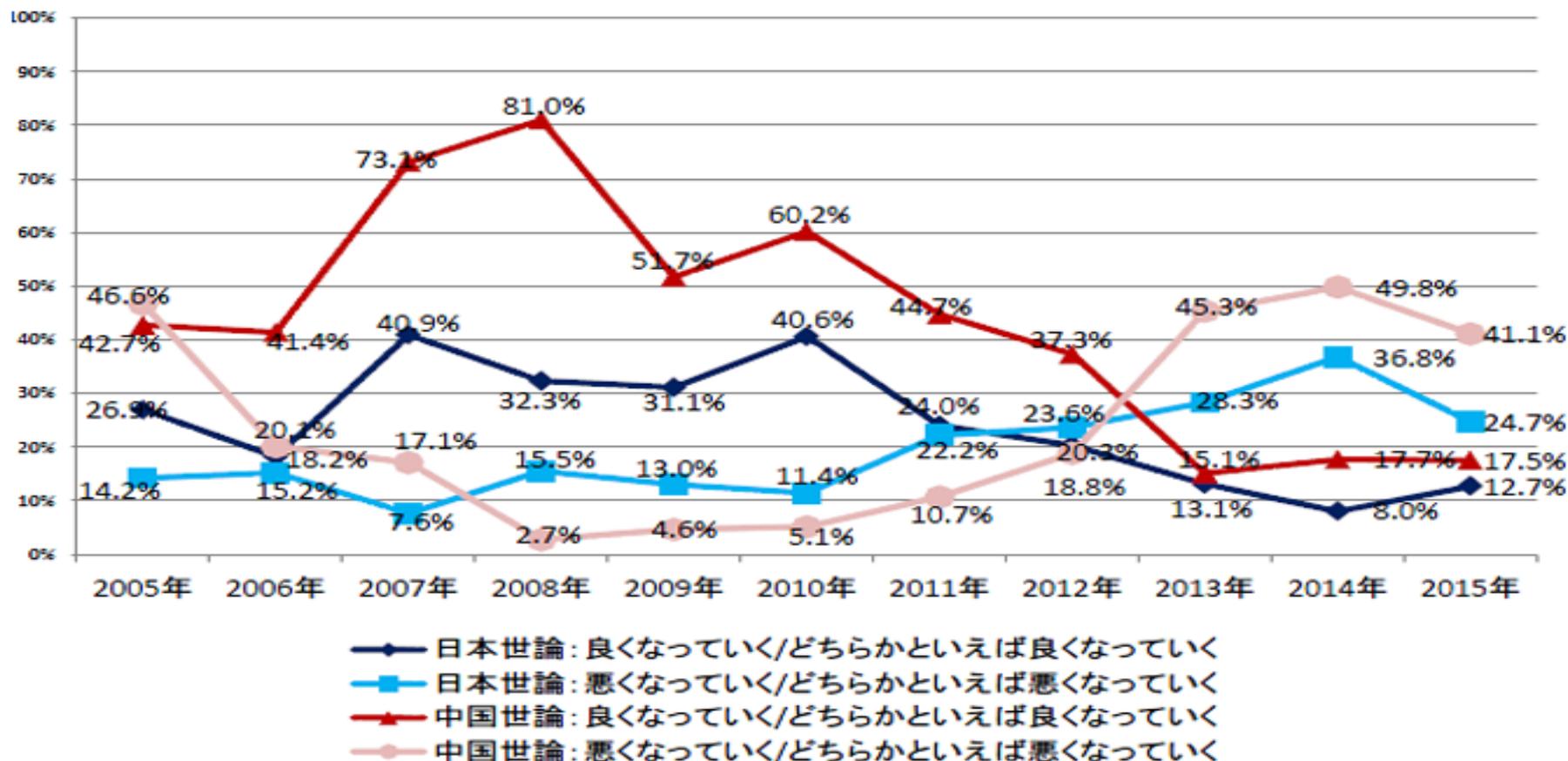
3-1、中日関係の発展に期待しているか

中日関係の見通しをどう思うか（中国社会科学院日本研究所の調査）



3-2、中日関係の発展に期待しているか

将来の中日関係はどうか（言論NPO等の日中共同世論調査）



5. 中日関係を発展させるために何が重要だと思うか

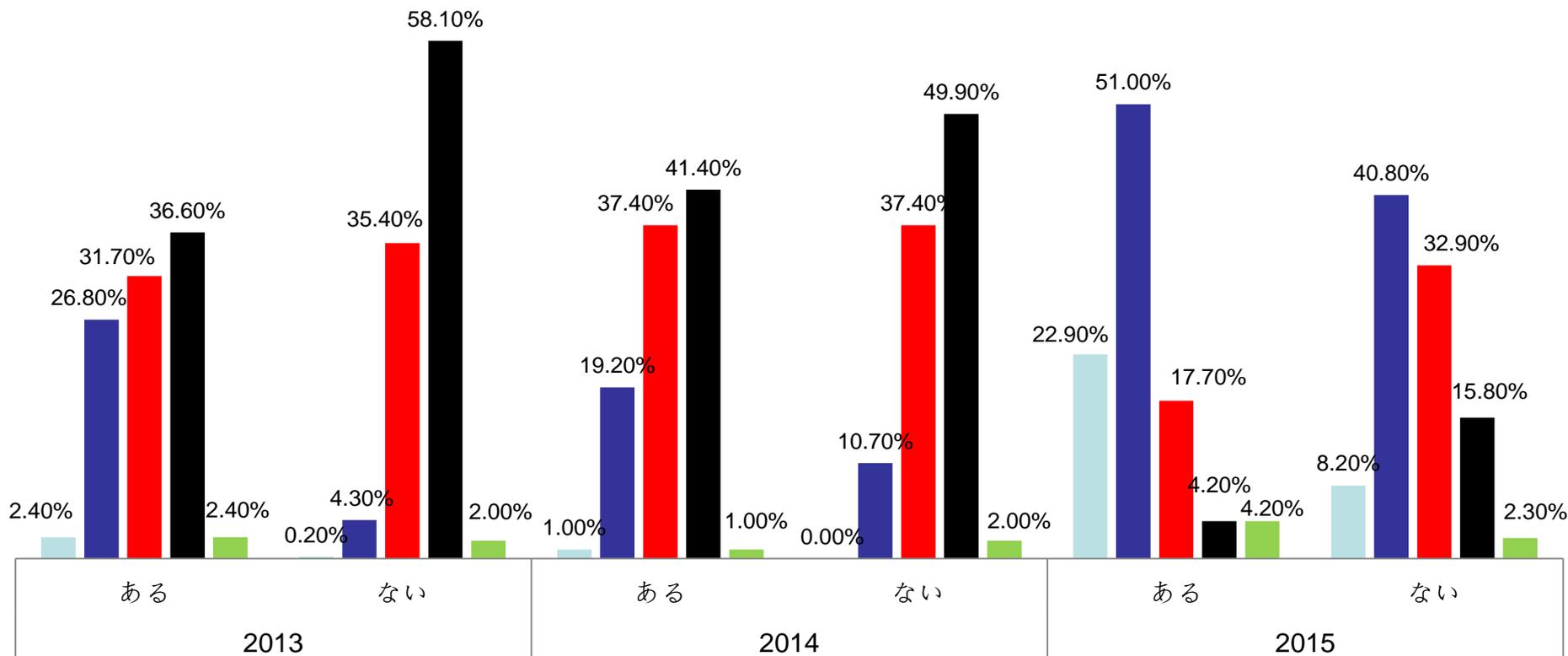
日本研究所 世論調査	2002年	2004年	2006年	2008年	2010年	2011年
一位	経済貿易	経済貿易	歴史問題	経済貿易	経済貿易	釣魚島
	46.8	40	46.8	55.1	44.9	45.5
二位	歴史問題	歴史問題	経済貿易	文化交流	歴史問題	経済貿易
	46	36.4	41.3	38.8	40.9	41.9
三位	科学技術 協力	文化交流	首脳外交	首脳外交	釣魚島	歴史問題
	34.8	32	29.1	32.7	30.9	38.2

四、中国人の対日観の最近の変化

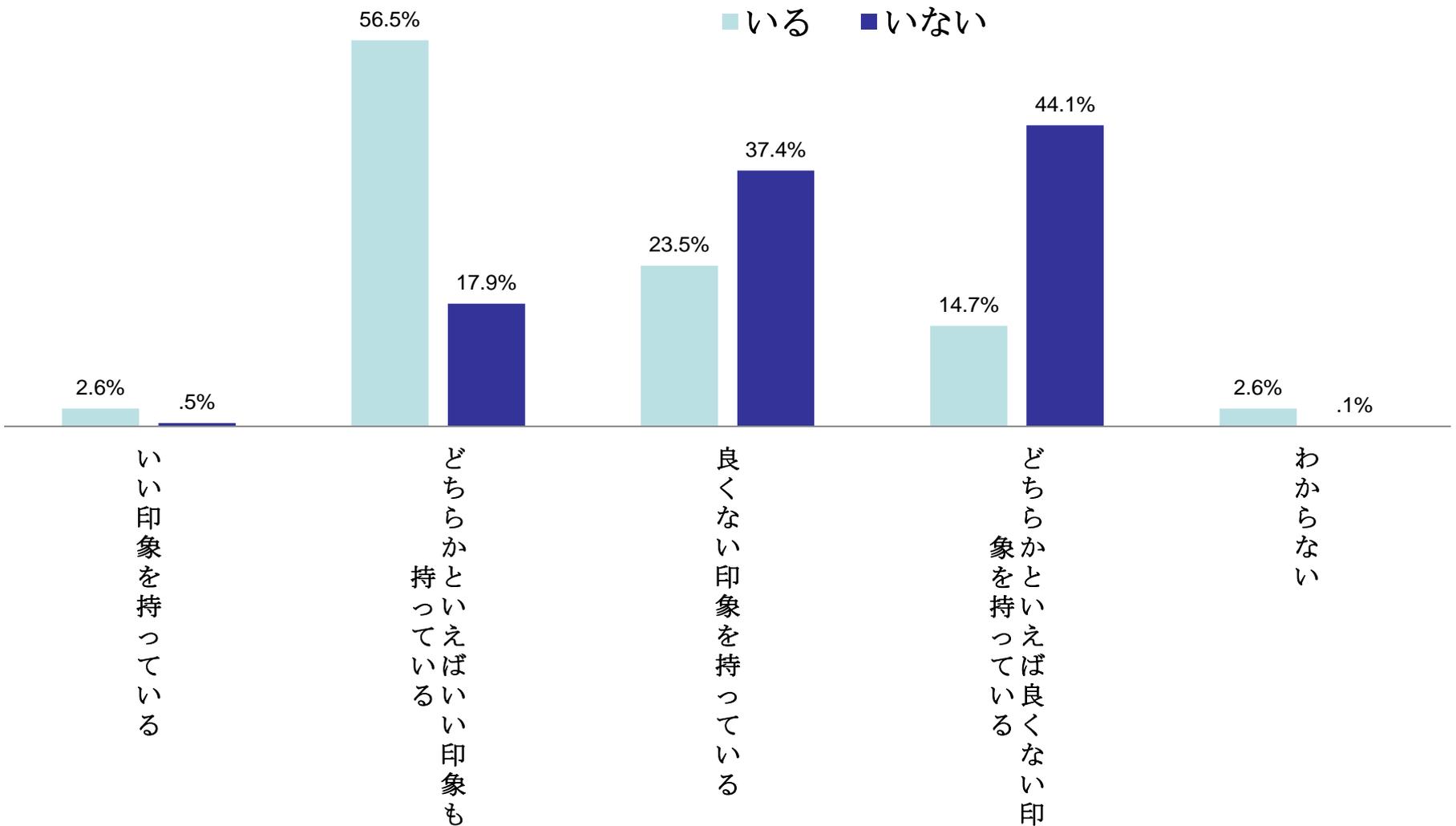
- ・ 日本に対するマイナスのイメージはまだ高水準ではあるが、改善し始めている。
- ・ その背景に日本体験者増加の要因があると思われる。
- ・ 日中共同世論調査（2015年）では、日本渡航経験を持つ人は7.9%となった。2013年は2.7%、2014年は6.4%だったから、ここ2、3年間増え続けている。また、日本に知人がいる人も昨年の3.1%から、7.3%と増加している。
- ・ 日本渡航経験者などは日本に対するイメージの改善に貢献している。

日本に行ったことのある者と行ったことのない者の比較（日中共同世論調査）

- いい印象を持っている
- どちらかといえばいい印象も持っている
- 良くない印象を持っている
- どちらかといえば良くない印象を持っている
- わからない



日本人の知人がいる者と知人がいない者の 日本に抱いている印象の比較（日中共同世論調査）



五、まとめ

- 1、中国人の日本イメージは多重である。
- 2、歴史の記憶が薄れず、歴史問題が日本認識・中日関係認識において依然として重要視される。
- 3、近年の日本イメージでは、釣魚島をめぐる中日間の係争によって領土問題が目立つようになった。
- 4、中日関係の現状評価は低いが、中日関係の発展への期待は高い。
- 5、中国人の日本渡航などの個人経験が日本に対するイメージの改善につながっている。今後、両国の観光を含めた人的交流による関係向上を期待したい。